

# 特定非営利活動法人なかよし 2023 年度事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

## 1. 事業の成果

### (1) 事業所

#### ①職員体制

職員体制については、2023 年度を通して 1 名の常勤職員の退職（病気により非常勤へ変更）、1 名の新入職員の採用がありました。また、5 名の非常勤職員の退職、8 名の非常勤の採用がありました。1 名はデイサービスの職員、4 名は B 型事業所の職員、3 名はグループホームの夜間支援員でした。さらに、9 月には職員 1 名が育休から復帰し、短時間勤務にて継続しています。法人全体の職員配置としては、「ひまわりの家」「元気ハウス」を中心に加配となっており、提供している福祉サービスの質は高まっていると感じています。

#### ②法人・事業所の体制

今年度は相談支援事業所に職員を 1 名配置し、管理者を含めて 3 名体制で運営をおこないません。しかし、本人の希望により相談支援事業所での勤務は今年度いっぱいとなり、来年度からは再び 2 名体制での運営に戻ります。また、今年度に検討をおこなったグループホームの一部日中支援型への転換については（グループホームかの里）、職員配置等を検討し、現在の体制のまま継続することになりました。福祉業界での職員の確保は長期的な課題であり、職員の確保に翻弄されるより、現在の職員体制での対応を継続することで、グループホームにおける支援の質を担保していくことのほうが重要であると考えました。日中活動については、今年度はひまわりの家でキッチンカーの購入は叶いませんでしたが、代わりに販売をおこなっているロードの外壁工事をおこない、明るく見やすい外見にすることで集客に取り組みました。また、元気ハウスにおいても、小物の自主製品を作成し、フリマやマーケットに出店することで新たな収益を得る取り組みをおこないません。デイサービスは利用を検討する見学者も増え、土曜日以外の平均利用者数も増えてきました。

全体をとおして、精神障がいだけでなく、多様な障がいのある人々が共に生活する地域の事業所として包括的な運営をおこなうことができた 1 年でした。これからも、法人改革を継続し、法人が大切にしている理念を目指して活動をおこなっていければと思います。

#### ③法人における ICT の活用

今年度も Microsoft Teams による事業所間の連携を継続しています。Teams を活用することにより、同法人内の利用者情報の共有が円滑になり、よりきめ細かな支援が可能になっています。

## (2) 法人財政について

法人全体として、障害福祉事業による健全財政を目指し、支援の質の低下が起きないための人員配置等、条件整備を確保しながら収入の向上を目指しました。今年度は、法人改革が完了した2年目となるため、昨年度よりも更に安定した運営状況となり、経常収支として大幅な増収に転じることができました。

今年度の経費として、「デイサービスセンターなかよし」の借入金及び利子が今年度は3年目となり、残り7年の返済となっています。また、デイサービスセンターなかよしの送迎車を買替え、中古車ではあるものの以前よりも年式も新しく距離数も少ないものにすることができました。さらに、「めいせい元気ハウス」の建物のシャッターの老朽化がひどく、大家さんをお願いして新しいものに変更してもらいました。その変更に伴い、建物の塗り替えをしたことで、全体的に明るい雰囲気になりました。看板も全ての事業所で同じ形式に統一することができました。

その他の運営面では、就労継続支援 B 型利用者数の減少がみられましたが、メンバーの工賃が高くなっていることもあり、報酬単価が一段階高くなり、収入は増えました。また、グループホームでは、年度末に体調を崩した利用者の入院がありましたが、11月に全てのホームが満室となり、全体的に安定した運営を継続することができました。この地域には、新たな B 型事業所及びグループホームの開設が続いており、利用者の確保が難しい現状ではありますが、みなさんから選ばれる事業所であり続けるために、それぞれ努力しています。

## (3) 労働環境の整備と法人運営について

今年度も名古屋市の相談支援事業所の運営補助金、臨時処遇改善加算（ベースアップ支援加算）、物価高騰対策支援金の申請をおこないました。これらの補助金申請を反映させるため、加算対象事業所だけでなく、法人職員全員に対する加算部分の給与の見直しをおこないました。また、非常勤職員の最低賃金の変更に応じて、非常勤職員の給与の変更をおこないました。物価高騰に伴い、全体的な給与アップの必要性が問われており、来年度に向けて給与体系の見直しの必要性を感じています。

## (4) 学習会・研修会・全体会について

今年度も継続して法人内の学習会を積極的におこないました。2年前から継続している各事業所が事例を提出する検討会に加え、外部講師に依頼しておこなう全体会や内部で学びを深める全体会、個人で自主的に取り組む課題など、法人全体の支援の質の向上を図る取り組みを継続してきました。また、NPO 法人水泉会クラブハウスゆうせんと交換研修をおこない、なかよしから職員2名がクラブハウスゆうせんで研修、クラブハウスゆうせんから職員1名がなかよしで研修をおこないました。法人全体で取り組んだ活動については以下の通りです。

5月11日 NPO 法人なかよし全体研修会「精神保健福祉の理解」

- 明治学院大学 平澤恵美先生（法人代表理事）
- 7月27日 事例検討会「日常生活動作に支援を必要とする利用者の宿泊を伴う  
余暇支援について」グループホームなかよし
- 8月29日 NPO 法人なかよし全体研修会「精神疾患・障がいの基本的な理解」  
中部学院大学 加藤大輔先生
- 9月23日 NPO 法人なかよし全体研修会「今改めて支援について考える」  
向谷地生良（浦河べてるの家）×奥田知志（NPO 法人抱撲）
- 11月28日 事例検討会「介入に拒否感を示す利用者へのアプローチ方法」  
めいせい元気ハウス
- 1月26日 NPO 法人なかよし全体研修会「事例を通して学ぶ虐待」  
明治学院大学 平澤恵美先生（法人代表理事）
- 2月15日 事例検討会「若年層の利用者さんがデイの生活の中で人間関係をうまく  
構築できるように関わる方法について」デイサービスセンターなかよし

#### (5) あいされん・きょうされんの活動について

≪活動内容≫

##### あいされん運営会議参加状況

第一回あいされん運営委員会及び総会（5/19）	参加
第二回あいされん運営委員会（6/20）	参加
第三回あいされん運営委員会（7/21）	参加
第四回あいされん運営委員会（9/15）	参加
第五回あいされん運営委員会（11/13）	参加
第六回あいされん運営委員会（12/15）	参加
第七回あいされん運営委員会（2/16）	参加

##### あいされん中西ブロックへの取り組み

第1回中西ブロック会議（5/22）	ZOOM 参加
第2回中西ブロック会議（7/24）	参加(生活介護すまいるたいむ)
第3回中西ブロック会議（9/25）	参加(生活介護みらいろ)
第4回中西ブロック会議（11/27）	参加(多機能型事業所あしたの家)
第5回中西ブロック会議（1/22）	開催・参加(めいせいひまわりの家)
第6回中西ブロック会議（3/25）	参加(多機能型事業所あしたの家)

##### その他

\* 第47次国会請願書名

署名数 780 筆 募金 7500 円

\* 新入職員向けきょうされん交流研修参加

日比野職員 遠藤職員 山崎職員

\*物資売り上げ

夏季 354,293円      冬季 428,270円

運営委員会をはじめ、総会や中西ブロック会議などに積極的に参加することで、情勢や活動について知識を深め teams などを通じて法人全体へ共有することができました。また、新入職員向けきょうされん交流会への参加や、めいせいひまわりの家にて中西ブロック会議の開催に至るなど、活動の幅が広がったと感じた1年となりました。一方で全国大会の不参加をはじめとしたスケジュールの確認不足などもあり、管理を徹底していくことが引き続き課題として残りました。

## (6) 地域連携（自立支援協議会への参加）

### <防災部会>

- 第1回 5月15日(月)「令和5年度 年間計画の確認」
- 第2回 10月20日(金)「BCP (Business Continuity Planning 災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画) 事例検討について」
- 第3回 11月22日(水)「いざという時に大切なこと (普段の防火意識)」
- 第4回 12月5日(火)「災害時の対応について」
- 第5回 2月19日(月)「今年度の振り返り」

NPO法人なかよし防災部会の担当として、災害に対してまだまだ対策が不十分という事が地域課題になっていることを踏まえ、改めて災害に対して具体的に何が出来るかを検討し、取り組んでいくことを目的として部会活動の活動に参加しました。

### <広報部会>

- 第1回 4月25日(火)「今年度活動方針について」
- 第6回 2月20日(火)「振り返りと来年度に向けて」

広報部会は勤務上の都合もあり、参加率が極めて低いものとなりました。会議内では他事業所の取り組みも話し合わせるため、法人で参考になりそうところは持ち帰り、法人内で理解を深めていければよいと感じました。来年度は福祉展示が9月に予定されていることや自主製品の紹介も12月に控えていることもあり参加させて頂く予定です。

### <相談部会>

- 第1回 4月17日(月)「相談員交流会」
- 第2回 5月22日(月)「サービス管理責任者・サービス提供責任者との連携」
- 第3回 6月19日(月)「事例検討会」
- 第4回 6月21日(水)「司法との勉強会」
- 第5回 8月24日(木) 松蔭病院との勉強会「病院との連携について」
- 第6回 8月25日(金) 四区合同学習会「事例を通して地域課題を考える」
- 第7回 8月29日(火)「西特別支援学校との進路学習会」

- 第8回 9月22日(金)「児童虐待、ヤングケアラーについて」
- 第9回 10月16日(月)「事例検討会(養護者からの虐待に発展しそうなケース)」
- 第10回 12月18日(月)「第二回定例会(名古屋市自立支援連絡会での課題の検討)」
- 第11回 1月18日(木)「ケアマネサロン(障害福祉と介護保険サービスの勉強会)」
- 第12回 1月22日(月)「虐待防止研修」
- 第13回 1月23日(火)「重層的支援体制整備事業についての研修会」
- 第14回 2月21日(水)「松蔭病院との勉強会(地域で暮らす当事者への支援)」
- 第15回 2月29日(木)「四区合同学習会(家族を含めた見立てを学ぶ)」
- 第16回 3月18日(月)「令和5年度中川区自立支援連絡協議会活動」

相談部会は地域での関わりがとても重要なため、休むことなくほぼ毎月参加するように務めました。今年度も自立支援協議会に参加することで、新たな視点を得ると同時に、知見を深めることができました。

#### (7) 広報活動・地域交流について

広報活動として、今年度は春号・夏号・秋号の計3回で法人ニュースを発行しました。昨年度同様、正会員や賛助会員に加え、約200ヶ所の県内の関係機関や事業所にニュースを送付しています。法人ニュースは利用者と職員が合同で組織している編集委員が中心となって作成しているため、利用者の意見が反映される貴重な場となっています。また、ニュースの発送時に物資の時期には物資のパンフレットや自主製品のチラシ、署名の時期には署名用紙を同封し、私たちの活動をより良くしていただくための取り組みをおこないました。

また、昨年度に引き続き、株式会社ビジョンと契約を継続し、ホームページの掲載をおこなってきました。ホームページを通して問い合わせがきたり、法人の活動を広く知って頂く手段になっています。さらに、各事業所ごとにインスタグラムを開設し、イベント時やその他の活動内容を発信することで、より身近な事業所として活発に活動しています。

地域交流については、5月21日と11月5日の「おさんぽフリマ」への参加、6月10日の「あじさいコンサート」、8月4日・5日の「万場祭り」に加え、10月9日には、第2回「なかよしマーケット」をひまわりの家にて開催することができました。今回も子育て支援拠点事業をおこなっている「ゆるまる」さんに加え、「やまびこ」さんにも参加していただき、メンバーだけではなく、多くの地域の方々にもご参加いただくことができました。開催にあたり、地域の方々に駐車場を提供していただき、私たちの活動を多くの人々に知って頂く機会にもなりました。今後も定期的にイベントを開催し、地域の繋がりを構築していきたいと思っております。一方で、3月に予定していた「なかよし交流会」については会場の関係で開催することができなかつたため、来年度に開催を延期することになりました。

#### (8) 実習生について

今年度は、同朋大学から精神保健福祉士の実習生2名、社会福祉士の実習生5名を受け入れました。うち社会福祉士の実習生1名は途中で中止になりましたが、それぞれの事業所で学生対応をすることで、法人内の職員の意識も高まり、自身の実践を振り返る機会にもなりました。職員教育の機会にもなっているため、今後とも受け入れられる範囲で、福祉の現場で働くことを希望する学生たちへの指導をおこなっていきたいと思います。

### (9) 研究活動・出張授業について

今年度も現場見学及び研究調査への協力に加え、出張授業をおこなうことができました。

- ① 8月中：筑波大学「障害のある人の生きがいに関する調査」  
各事業所にてアンケート調査に協力（30名分）
- ② 10月中：愛知県立大学（金先生ゼミ生の見学と実習）
- ③ 11月23日：明治学院大学 金子先生ゼミ生3名見学実習
- ④ 12月14日：仁川広域市精神保健福祉専門職愛知県庁等海外先進地域研修  
訪問プログラム  
(韓国より15名程度の方々がNPO法人なかよしを見学)
- ⑤ 3月5日：明治学院大学 金ゼミ2名見学実習
- ⑥ 3月15日：明治学院大学 平澤ゼミ2名見学実習

### (10) 正会員・賛助会員

正会員 29名  
賛助会員 11名

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 就労継続支援事業所
  - \* めいせい元気ハウス： 平均利用者数15.0名（昨年度15.5名）
  - \* めいせいひまわりの家： 平均利用者数15.3名（昨年度16.9名）
- ② 共同生活援助事業所
  - \* グループホームなかよし： 平均利用者数26.4名（昨年度25.3名）
- ③ デイサービス型地域活動支援事業
  - \* デイサービスセンターなかよし： 平均利用者数16.8名（昨年度15.6名）
- ④ 特定相談支援事業所
  - \* 相談支援事業所なかよし： 計画作成総数267件（昨年度216件）  
計画58件（60件）・モニタリング203件（152件）・児童計画3件（1件）  
児童モニタリング3件（3件）

### 3. 会議の開催に関する事項

#### (1) 理事体制

新型コロナも2023年5月で「5類」となり、理事会も対面での開催が中心になりました。一方で遠方から参加して頂ける体制として、継続的にZoomと対面のハイブリッド型で理事会開催をおこなっています。今年度は、承認された理事8名、監事1名の役員体制で法人の安定運営に向けて取り組みました。

#### (2) 総会・理事会

##### <総会>

第23回特定非営利活動法人なかよし総会

日時：2023年6月11日 10:00~12:00

場所：特定非営利活動法人なかよし本部

正会員総数 29名

出席者数： 18名（表決委任者9名）欠席者2名

##### <理事会>

第一回 2023年5月29日 通常開催

第二回 2023年7月31日 通常開催

第三回 2023年9月25日 通常開催

第四回 2023年11月27日 通常開催

第五回 2024年1月22日 通常開催

第六回 2024年3月25日 通常開催